

観光学研究科

■研究テーマ・履修モデル

<研究テーマ>

「観光経営の手法に関する研究-〇〇を事例として-」

自分が研究テーマとしたいものについてその概略をまとめます。

<研究計画>

2年間の研究計画を具体的に作成します。

【1年目】

観光経営に関する先行研究について文献を選択し、文献リストならびに「要約」集を作成します。夏季休業期間（秋入学の場合、冬季休業期間）を利用して、対象事業所などの「ヒアリング調査」を行います。ヒアリングの準備としては、「質問事項作成」、「事前のアポイントメント」などがあります。

夏季休業期間（秋入学の場合、冬季休業期間）に「ヒアリング調査結果」のまとめを行い、あわせて対象事業所の概況などについてまとめます。

基本的に、2年目の修士論文あるいは課題研究作成を念頭に行うことが大事です。

作成したリスト、調査結果、図表、写真はデータとして保存します。

<履修科目>

必修 2 単位

A 類 4 単位

B 類 4 単位

C 類 4 単位

D 類 8 単位

基本的には、必修科目（1年目後期）「観光研究テーマ演習」、A類「観光振興特殊講義」、「観光産業・事業特殊講義」、B類「観光振興研究演習」、「観光産業・事業研究演習」C類「観光振興文献演習」、「観光産業・事業文献演習」、D類「観光調査法」、「観光振興研究」、「観光・地域政策演習」、「観光宣伝研究」などを履修します（A類～D類の選択科目については、適宜受講可）。

【2年目】

修士論文あるいは課題研究の目次構成について指導教員と調整します。概ね、1～5章、50p以上、課題研究は30p以上を目標とします。修士論文指導演習の授業時に毎回、作業の状況を指導教員に報告し助言を受けます。修士論文あるいは課題研究の最終提出は春入学2月、秋入学8月ですから、逆算して書き始めます。短期間の作成は困難なので時間がかかる先行研究の章から始めます。

<履修科目>

必修 4 単位

D 類 4 単位

「修士論文指導演習Ⅰ」、「修士論文指導演習Ⅱ」、D類「観光ビジネス研究」、「観光情報メディア演習」を履修します（A類～D類の選択科目については、適宜受講可）。

<修了までのプロセス>

・30単位以上の単位修得→修士論文もしくは課題研究作成・提出→論文審査・面接試験→研究科委員会→大学院委員会→学位授与